

30	山崎 洋介	Digital Dentistry のための Additive Manufacturing 特論
(火)	(解剖学 II)	<p>一般には 3D プリンターとして知られる付加製造 (Additive Manufacturing; 以下 AM) は、デジタルデンティストリーにおいてはサージカルガイド、キャストブルなレジンパターン、スプリント、個人トレー、床矯正装置、作業模型、義歯床の作製など多様な用途に用いられて、これまで手作業の技工操作にのみよっていたものにとって代わろうとしている。そこで、3D プリンターでデータを出力するまでの操作を実践する。特に、データマニピュレーションの過程と、AM の原理の理解に重点を置く。願わくば、半期の終わりにはこれら AM の知識と技術が受講者の自家薬籠中のものとなることを期待する。</p> <p>受講に際しては、計算リソースとしてのある程度性能の高い PC を所有していること、大容量データやり取りのための光ファイバーかそれ相当のブロードバンド環境があることを条件とする。また、コンピューターおよびプログラミングの素養が必要である。時間外においても、研究テーマについて思考し、また文献渉猟を継続すること。</p> <p>メールアドレス (@nihon-u. ac. jp より前の部分) : yamazaki. yosuke メール受け取り希望日時 : 随時</p>